

SDGsとは何か

SDGs (Sustainable Development Goals) とは、2015年9月に国連サミットにおいて採択された**持続可能な開発目標**。2030年までの達成を目指し、**17の目標と169のターゲット、232の指標** (※) を掲げる。(※重複を除く)

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS



(出所) 国連広報センター

12 つくる責任
つかう責任



目標12 持続可能な生産消費形態を確保する

➤ ターゲット12.3

2030年までに小売・消費レベルにおける世界全体の一人当たりの食料の廃棄を半減させ、収穫後損失などの生産・サプライチェーンにおける食品ロスを減少させる。

- 指標12.3.1

a) 食料損耗指数、 b) 食料廃棄指数

➤ ターゲット12.6

特に大企業や多国籍企業などの企業に対し、持続可能な取り組みを導入し、持続可能性に関する情報を定期報告に盛り込むよう奨励する。

- 指標12.6.1

持続可能性に関する報告書を発行する企業の数

SDGsが採択された背景

SDGsは2000年に国連ミレニアムサミットで採択された
MDGs（Millennium Development Goals：ミレニアム開発目標）の後継として策定された。

MDGsの8つの目標	
極度の貧困と飢餓の撲滅	妊産婦の健康の改善
初等教育の完全普及の達成	HIV/エイズ、マラリア、その他の疾病の蔓延の防止
ジェンダー平等推進と女性の地位向上	環境の持続可能性の確保
乳幼児死亡率の削減	開発のためのグローバル・パートナーシップの推進

- ・ 極度の貧困の半減などに一定の成果があったものの、乳幼児死亡率や妊産婦の健康など、**一部の目標には課題が残る。**
- ・ **達成度に地域的なばらつき。**

+

- ・ 環境問題や気候変動問題が深刻化。
- ・ 国内や国家間の格差が拡大するなど新たな課題も。

SDGsの採択

(出所) 大和総研作成

SDGs達成には民間部門の取り組みが求められる

国連「我々の世界を変革する:持続可能な開発のための2030アジェンダ」(外務省仮訳)

- 政府や民間セクター、市民社会、国際機関、その他の主体及び動員可能なあらゆる資源を動員
- 民間企業の活動・投資・イノベーションは、生産性及び包摂的な経済成長と雇用創出を生み出していく上での重要な鍵である。

日本政府 SDGs推進本部「持続可能な開発目標（SDGs）実施指針」

- <民間企業> 民間企業（個人事業者も含む）が有する資金や技術を社会課題の解決に効果的に役立てていくことはSDGsの達成に向けた鍵でもある。
- <消費者> 消費活動において大きな役割を担う消費者や市民の主体的取組を推進していく。